

シリーズ監修：林 寛之（福井県立病院救命救急センター）

特訓！レジの穴 アンチョコカード

いくら教科書どおりに病歴や身体所見、鑑別診断を覚えたからと言っても、そもそも主訴を取り違えていたり、患者さんの気分を害してしまったりと、診療技術以前の問題でつまずいていては、いい結果は得られません。月刊「レジデントノート」連載中の「特訓！レジの穴」では、ほかのレジデントが陥った落とし穴（通称「ドジの穴」）を通じて、実践的なTipsを解説していきます。ぜひ本誌の解説もご覧ください。

カード作成：森 浩介（福井県立病院救命救急センター）

レジの穴：アンチョコカード

14

疑う者は救われる！
Road To PE, from Well's criteria.
手持ちの武器は高感度D-dimerと
CTPA♪

Well'sクライテリア

DVTの症状や所見がある	3.0点	
PEが最も考えられる	3.0点	
心拍数>100回/分	1.5点	
固定または外科手術（4週以内）	1.5点	
PE・DVTの既往	1.5点	
咯血	1.0点	
活動性の悪性腫瘍	1.0点	
検査前確率とPEの発症率		
<2.0点	low	⇒ 3.6%
2.0～6.0点	moderate	⇒ 20.5%
>6.0点	high	⇒ 66.7%



- ①疑ったら Well'sクライテリアからスタート！
- ②高感度D-dimer（ELISA）でlow～moderateリスクを除外しよう
- ③D-dimer陽性、もしくはhighリスクはCTPAで診断しよう

いざというときの心エコー。
日本の強みを最大限に使うべし！

◎羊土社

レジデントノート2010年6月号（Vol.12-No.4）

お好きなサイズに切り取ってご利用ください！